

令和8年度国立公園等資源整備事業費補助金(エコツーリズムを通じた地域の魅力向上事業)の採択事業一覧

No	都道府県	協議会名称	事業の概要
1	広島県	呉市島しょ部エコツーリズム推進協議会	呉市島しょ部(音戸・倉橋・安芸灘とびしま海道エリア)が有する豊かな自然資源や地域文化、これまで培ってきたインバウンド受入の実績を活かし、持続可能で付加価値の高い滞在型エコツーリズムを推進する。 そのため、地域資源の魅力や価値を来訪者に分かりやすく伝える仕組みづくりや体験プログラムの磨き上げを行うとともに、受入環境の充実を図る。 また、エコツーリズム推進法に基づく全体構想の策定・認定を見据え、資源調査、利用ルール検討、人材育成及び観光プログラムの整備を一体的に進め、地域ぐるみで持続可能な観光地域づくりを推進する。
2	鹿児島県	出水市エコツーリズム推進協議会	出水市が誇るツルの越冬地(ラムサール条約湿地)及びツル博物館等の自然観光資源を核として、自然環境の保全と観光振興の好循環を創出するエコツーリズムを推進する。 令和8年5月に認定されたエコツーリズム推進全体構想に基づき、地域関係者が連携して、インバウンドを含む多様な来訪者の受入環境整備、人材育成及び情報発信を進める。 これにより、ツルと共生する地域の魅力を発信するとともに、自然環境の保全と地域活性化を両立する持続可能な観光地域づくりを実現する。
3	三重県	鳥羽市観光協会	鳥羽地域が有する海女文化、漁業、海洋環境などの豊かな自然・文化資源を活用し、地域の魅力を体験・学習できるエコツーリズムプログラムの造成・磨き上げを行う。 また、「自然・地域・人へのリスペクト」を基本理念として、多様な旅行者(インバウンド、高齢者、障害者等)が安心して参加できる受入環境の整備を進める。 これにより、生物多様性の保全と地域文化の継承、観光満足度の向上を両立させるとともに、海女文化を核としたインクルーシブなエコツーリズムモデルの構築を目指す。